



# 葦

社会福祉法人 愛徳福祉会

## 大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

大阪発達総合療育センター機関紙  
第47号 2023年 冬

### INDEX

・特集に寄せて 鈴木 恒彦 ……………1P	・院内学会・清水賞 ……………3P
・特集に寄せて 川端 秀彦 ……………1P	・リレーエッセイ……………3P
・第19回内藤壽七郎記念賞受賞について ……2P	・イベントトピック……………4P
・医療的ケア児等 コーディネーター養成研修 ……………2P	・寄付金と寄付物品 ……………4P
	・職員研修実績状況 ……………4P

### ■特集に寄せて

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

鈴木 恒彦



### ■特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



「新年あけましておめでとうございます」と申し上げるのも恥ずかしいのですが、昨年暮れの院内学会と、今年の新年のご挨拶を欠席し、恒例の職員の皆様へのご挨拶を欠いた理事長の務めをおろそかにした痛恨の失態をお許してください。梶浦名誉理事長、船戸センター長、川端院長、竹本フェニックス園長らのお陰で乗り越えられ、何よりでした。第19回内藤壽七郎記念賞受賞は、先生の偉大さが大阪小児科医会の推薦文に尽きます。医療的ケア児等コーディネーター研修は、近年の子ども家庭庁新設の基になった重要な事業であったと理解しています。院内学会賞、清水賞者の方々受賞おめでとうございます。この感激が次に繋がることを期待します。坂本氏による臨床工学士の紹介は、多職種による療育の裾野がいかに広がりをうかがわせます。コロナ感染症のため延び延びとなっていた創立50周年記念式典は、これ以上待てない名誉理事長の職員への渾身のメッセージと心得ています。

昨年の鈴木理事長の高木賞受賞に引き続き、今年は船戸センター長が内藤壽七郎記念賞を受賞されました。おめでとうございます。内藤壽七郎記念賞は小児の保健・医療・福祉に多大な貢献をされた小児科医に授与される名誉ある賞です。今回の受賞が先生の長年の功績が評価された結果であるのはもちろんですが、先生が中心となって職員全員が取り組んできたチーム医療が評価されたとも言えるかと思えます。

私どものセンターはいくつかの事業を大阪市や大阪府から委託されています。今回の葦には医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業についての記事があります。医療的ケア児等コーディネーターを養成することはある意味われわれの責務であり、また多くの修生が出ていることは誇りでもあります。長年この事業を担当して下さった正内次長は本年をもって退職されます。大変ご苦労様でした。ここに御礼を申し上げます。



## 第19回内藤壽七郎記念賞受賞について

大阪発達総合療育センター センター長  
船戸 正久

2022年6月11日高松での日本小児科医会総会において、第19回内藤壽七郎記念賞を羽鳥雅之先生（埼玉小児科医会推薦）と共に受賞しました。私自身大変驚くと共に「なんで私のようなものが？」と非常に不思議な思いでした。その後大阪小児科医会から次のような過分な推薦を受けていたことを知りました。

「先生は、淀川キリスト教病院で小児診療に携われ、その後新生児学を中心に活躍されました。その業績はご専門の新生児疾患の診療だけに留まらず、新生児医療の専門医療の生命倫理、看取りや緩和ケアなど従来にない新しい分野を開拓されました。その後、大阪発達総合療育センターに異動されてからは、新生児医療で実践された全人医療を障害児医療の分野にも応用され心血を注がれています。高度医療児の在宅移行支援には、地域での医療・福祉・教育が連携した包括支援体制を構築することが重要であることを訴えられ、自らその業務に携わっておられます、先生の新生児や障害児に対する考え方と真摯な診療姿勢は、内藤記念賞に値すると考え推薦いたします。」

故内藤壽七郎先生は、愛育病院名誉院長、日本小児科医会初代会長を務め、日本人初のシュバイツァー博愛賞を受賞した方であり、「育児の神様」と呼ばれています。このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄に思います。これもこのセンターにおいて多職種協働で大変熱心に協力していただいた職員一人一人のお陰であると心から感謝いたします。



## 医療的ケア児等コーディネーター養成研修

運営局 次長 正内 俊雄

本事業は「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づいて配置が必要とされる医療的ケア児等コーディネーターを養成する目的で、大阪市から委託を受けて当センターで行うものです。

具体的な活動としては、医療的ケア児等への支援や基礎知識の理解増進を目的とした「基礎研修」を年三回開催、更に実際に医療的ケア児等コーディネーターとして認定を受ける為の「応用研修」を年二回開催して



います。2022年度は基礎研修に88名、応用研修には31名が履修致しました。受講生の皆さんは年々積極的に受講され、コーディネーターとしての知識を身に付けたいという意欲を感じます。

研修を提供する側としてはそういった熱意に応える為に毎年内容を見直し常に良いものをお届け出来るように今後も取り組んでいきたいと考えております。



# 院内学会・清水賞

## 第11回南大阪小児リハビリテーション病院 院内学会

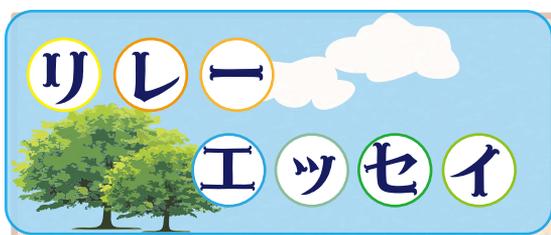
最優秀賞	適応が難しい子どもの手術入院生活を支える取り組み	リハビリテーション部	日高 渚
優秀賞	院内の補装具定期メンテナンスの取り組みについて	運営局義肢装具科	宮本万理子 松浦 宏樹 菌浦 彩香
優秀賞	1歳児グループ支援 ～育児を支える喜びとむずかしさ～	ゆうなぎ園	渡部 和美 板東美知子 苑田 徳子 森貞吏加代

◆受賞者コメント 最優秀書 リハビリテーション部・日高 渚  
この度は、最優秀賞を頂戴し、誠に光栄に思います。指導していただいた上司、支えてくれた同僚や後輩などの皆様のお陰だと思っております。今後もより良い支援に繋がるように精進していきます。ありがとうございました。

### 清水賞

清水賞	人工呼吸器機種VOCSNに付帯する 排痰補助機能の有用性について	医療技術部 医務部	前田 俊治 竹本 潔
奨励賞	医療的ケア児等支援法に則った医療的ケア児と家族の支援 次子出産支援策と成果	地域医療連携部 医務部	近藤 正子 船戸 正久
奨励賞	小児施設での臨床実習のあり方	リハビリテーション部	中島 るみ 米持 喬

◆受賞者コメント 清水賞 医療技術部・前田俊治  
在宅人工呼吸器を必要とされる患者様、またそのご家族様にとって将来的に有益な選択肢を拓ける一石となればとの思いで行った学会発表・論文投稿でしたが、このような名誉ある賞を頂き非常に光栄です。ありがとうございました。



臨床工学科 坂本 彩華

こんにちは。この度リレーエッセイのバトンを託されました臨床工学技士の坂本と申します。

皆さんは「臨床工学技士」という職種をご存知でしょうか？

当センター内では、私たち臨床工学技士はメディカル・エンジニアの頭文字を取り、略してMEと呼ばれています。

臨床工学技士は医療機器の専門医療職として、医療機器の操作や点検、メンテナンスを通して日々の診療に携わっています。

センターには人工呼吸器、除細動器やAED、手術で使う麻酔器や電気メス、ポンプ類など様々な医療機器があります。

それらの医療機器をスタッフの皆様、利用者様やそのご家族様が安心安全に使っていただけるよう、多職種チームの一員として貢献していきたいと思っています。



# イベントピックス

## 創立50周年記念式典

2022年12月28日、5階ホールにて梶浦名誉理事長による50周年記念講話が行われました。当センターが脳性麻痺に取り組んだ歴史から在宅療育の在り方など、梶浦名誉理事長が見てきたセンター50年の歩みを拝聴しました。



# 感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

### 一般寄付金

(R4.10～R4.12)

月	寄付者 (敬称略)	
10月	楽基金 1件	本園
11月	楽基金 1件	本園
12月	匿名 (株万代)	グループホーム 本園

### 寄付物品

(R4.10～R4.12)

	寄付者 (敬称略)	物品名	
10月	大塚大輔	20型TV	本園
	匿名	おもちゃ、ねんど	本園
	西村伊吹	ポニーウォーカー	本園
11月	岩本奈緒	おむつ	本園
	原田美夢	ポット	本園
	匿名	ファイアスティックTV	本園
	岩元碧生	wii一式	本園
12月	北本恵士	車イス	あさしお園
	匿名	歩行器	本園
	匿名	おむつ	本園

## 職員研修実施状況

令和4年10月～12月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和4年10月20日(木) 17:40～19:00	感染管理委員会 教育研修部	感染管理対策研修 「個人防護具の適切な着脱とノロウイルス対策」	大阪府済生会泉尾病院 感染管理認定看護師 田中ちよ氏	123名	5階ホール他
令和4年10月25日(火) 17:45～19:00	教育研修部	公開講座「ボバース概念によるリハビリテーションと多職種連携」	リハビリテーション部 顧問 紀伊 克昌	77名	5階ホール他
令和4年11月10日(木) 17:40～18:40	教育研修部	個人情報保護法研修 「個人情報の特徴とリスク ～医療機関～」	法務館法律事務所 弁護士 嶋田 修一氏	86名	5階ホール他
令和4年11月19日(土) 13:30～17:30	教育研修部	若手職員パワーアップ研修	株式会社インソース 黒山みちよ氏	20名	5階ホール
令和4年11月29日(火) 17:40～18:40	セイフティマネジメント委員会 教育研修部	医療安全管理研修 「怖い！ コンピュータウイルス」 院内暴力防止研修 「暴力ハンター委員会」	医務部小児科副部長 飯島 禎貴 看護部長 増田 恭子	69名	5階ホール他

## 院内学会

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和4年12月28日(水) 13:30～17:00	教育研修部	「入浴後の体温・皮膚感覚の変化に対する調査 -重症心身障害者の快適な入浴介助をするために-」	看護部 氏本弥沙 療育部 酒井康介	216名	5階ホール他
		「適応が難しい子どもの手術入院生活を支える取り組み」	リハビリテーション部 日高 渚		
		「え？歯が脱臼?? ～過緊張利用者の多職種協働事例～」	訪問介護ステーション 吉田久美子 土井彩香		
		「1歳児グループ支援 ～育児を支える喜びとむずかしさ～」	ゆうなぎ園 渡部和美 板東美知子 苑田徳子 森貞史加代		
		「院内の補装具定期メンテナンスの取り組みについて」	運営局義肢装具科 宮本万理子 松浦宏樹 藪浦彩香		
		「グループホームきらりの立ち上げ業務とグループホームならではの利用者の生活」	療育部きらり 幸田 薫平		
		内藤壽七郎記念賞受賞記念講演会 「これからの医療型障害児入所施設の役割 ～次世代へ伝えていくべき当センターの文化(精神)～」	センター長 船戸 正久		



## 大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会  
発行責任者・鈴木恒彦

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)  
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)  
主として重症心身障がい児者  
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児  
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児  
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)  
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21  
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856  
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)  
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856  
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)  
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児  
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児

〒552-0004 港区夕風2-5-3  
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524